

2026年度 獣医学研究科 博士課程 第2期入学試験問題
(選択： 伴侶動物外科学)

【出題の意図】

犬の肺高血圧症では、2020年にACVIM（アメリカ獣医内科学）のコンセンサスガイドラインが存在する。このACVIM分類や治療法は標準的な分類や診断法、治療法として世界標準になっている。また、犬の肺高血圧症には2020年以降も新たな治療法など論文報告が多数存在する。本試験問題の意図はこのコンセンサスガイドラインを理解しているか、また、最新の論文を読み、知識の境界（どこまで分かっている、どこまで分かっていないか）を問うものであり、循環器、強いては麻酔学でも重要な項目の一つと考えられるため。